

仙台市障害者施策推進協議会（第3回）各委員への回答

中村委員への回答

Q 就労のためには生活の支援が不可欠。ナカポツのような、包括的な支援をするようなシステムについて、仙台市の方向性を教えてほしい。【中村委員】

A 就労前支援としても就労後の定着支援としても、生活支援は必要と認識しています。本市内にはナカポツ（障害者就業・生活支援センター）として「わ〜く」があり、個別支援を行う中で就労支援センター等と適宜連携していますが、就労支援センターにおいても、就労支援と併せて生活支援を行っているケースや相談支援事業所と連携し支援を行っております。来年度、障害福祉サービスとして就労定着支援事業が創設される中で、生活支援の必要性はますます高まることが想定されることから、各事業所と連携しながら生活支援の充実をはかっていく必要があると認識しています。

桔梗委員への回答

Q 1 企業への就労施策の周知方法

「障害のある方の雇用促進フォーラム」及び「障害者雇用促進セミナー」ともに、仙台市内の雇用率調査対象企業へチラシを郵送するとともに、仙台市産業振興事業団がメールマガジン等で配信している「せんだいE企業だより」へ案内の掲載を依頼している。

（裏面に続く）

Q 2 参加・訪問企業の業種別数字

「障害のある方の雇用促進フォーラム」及び「障害者雇用促進セミナー」では業種別の企業関係者の参加者数については把握していない。

就労支援センター及びジョブコーチによる障害者雇用促進事業での企業訪問数
214社の内訳（平成28年度）

建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業	卸売・小売業	金融・保険・不動産	飲食店・宿泊業	医療・福祉
10	7	0	4	3	66	9	12	40

教育・学習支援	その他サービス業
0	63

Q 3 一般、福祉的就労の仕事、業種

・一般就労

一般就労者 192人の内訳（平成28年度 福祉施設から一般就労へ移行者数）

建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業	卸売・小売業	金融・保険・不動産	飲食店・宿泊業	医療・福祉
7	16	3	12	5	29	4	20	30

教育・学習支援	その他サービス業
5	61

・福祉的就労

仙台市内の福祉的就労の事業別内訳は、平成29年4月現在で、就労継続支援A型事業所 17箇所、就労継続支援B型事業所 87箇所である。なお、1事業所の中で複数の業種の仕事を扱っているため、業種については把握が困難である。